

開設講座名	保育実践講座Ⅱ A (保育・造形表現)	開設日	2021年9月4日 (土)
担当者	片桐真弓、横山博之	会場	尚絅大学 武蔵ヶ丘キャンパス (熊本県菊池郡菊陽町)
受講定員	40人	主な受講対象者	幼稚園教諭
受講料	6,000円	時間数	6時間
講習内容	本講習は、幼児教育に対する理解を深めるためのプログラムであり、次の2科目を開設する。 ①子どもの発達と環境 ②子どもの造形表現について		

午前	講習テーマ	子どもの発達と環境	片桐真弓
	講習の到達目標 及びテーマ	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの発達や幼児期の終わりまでに育ってほしい姿をどのように捉え、理解していくまなざしが求められるかについて考察し、自らの子ども観や保育観を見直す。 幼稚園教育の基本である「環境を通して行う教育」について再検討を行う。 幼稚園教師の専門性とは何か、よりよい保育を実現するための手立てについて考察する。 	
	講習の概要	幼稚園教育要領の第1章総則の「第1節幼稚園教育の基本」を再確認することから始め、自らの子ども観・保育観を見つめ直し、子どもの発達を捉えるまなざしについて考察する。また、保育環境に焦点を当て、環境がもつ人間形成力について理解を深めることとし、さらには、幼稚園教師の専門性が問われるなか、よりよい保育を実現するための手立てについて、共に考えたい。	
	形態	講義 (グループ討議や演習を含む)	
	テキスト	幼稚園教育要領解説 (持ってない方はこちらで用意いたします)	
	事前準備	不要	
	評価	修了認定のための論述試験を講習時間内に実施する。	
	講習受講希望者 への事前連絡	特になし。	

午後	講習テーマ	子どもの造形表現について	横山博之
	講習の到達目標 及びテーマ	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園教育要領に示された領域「表現」のねらいを踏まえて、幼児の造形的な表現活動について理解を深める。 造形活動の実践を通して、工夫しながら「もの」をつくりだす楽しさや喜びを味わう。 廃材を用いた制作を通して、材料 (素材) ・用具の価値の再発見をする。 	
	講習の概要	<ol style="list-style-type: none"> 講義「子どもにとって造形とは」 演習「廃材を用いた帽子づくり」 講義では子どもにとって「造形」とは、「表現すること」とはについて考える。演習では廃材を利用し、限られた用具を用いて、それぞれが設定したテーマにあわせた帽子づくりを行う。	
	形態	講義と演習	
	テキスト	なし	
	事前準備	不要	
	評価	実技試験 (演習における制作過程も評価に含める。)	
	講習受講希望者 への事前連絡	造形活動に適した服装で参加すること	